

「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」

第4回フォローアップ調査結果

○調査の概要

調査対象: 国立大学86大学(回答率100%)
調査時点: 設問1～3…平成28年11月1日現在(原則)、設問4～6…平成28年度
調査方法: 国立大学へのアンケート
調査期間: 平成28年11月8日～平成28年12月19日

(参考 学生数)

(人数)

	平成24年5月1日現在	平成25年5月1日現在	平成25年11月1日現在	平成26年5月1日現在	平成26年11月1日現在	平成27年5月1日現在	平成27年11月1日現在
学部	450,266	448,183	433,700	454,076	452,307	452,529	451,184
大学院	156,180	151,424	144,902	154,898	154,526	155,673	155,354
合計	606,446	599,607	578,602	608,974	606,833	608,202	606,538

	平成28年5月1日現在	平成28年11月1日現在
学部	451,870	450,847
大学院	157,442	157,972
合計	609,312	608,819

(国立大学協会調査による)

1. 外国人留学生

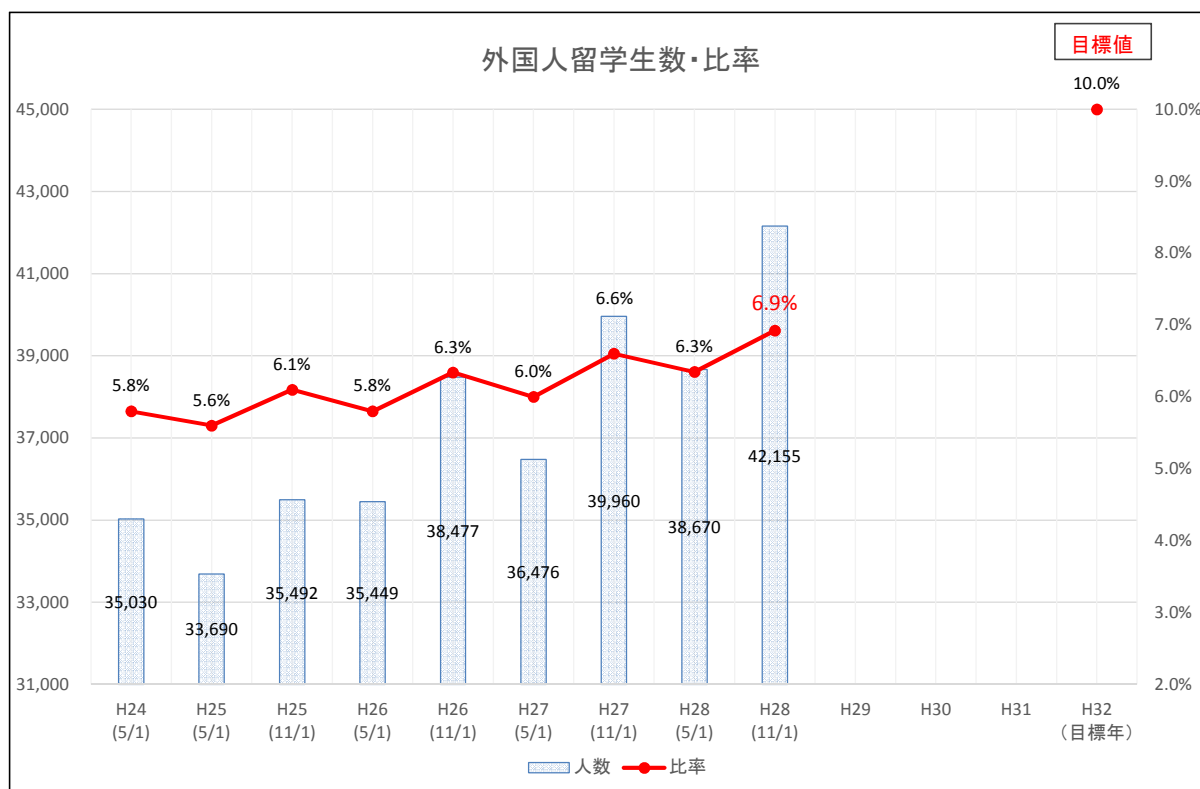
目標 2020年(平成32年)までに受入れ留学生(外国人留学生)割合を学部・大学院合わせて10%にすることを旨す。

①外国人留学生数

	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H25.11.1 現在	H26.5.1 現在	H26.11.1 現在	H27.5.1 現在	H27.11.1 現在	H28.5.1 現在	H28.11.1 現在	H27.11.1と比較
	学部	9,881 人 2.2 %	9,525 人 2.1 %	10,302 人 2.4 %	10,941 人 2.4 %	12,180 人 2.7 %	11,020 人 2.4 %	12,213 人 2.7 %	11,514 人 2.6 %	12,543 人 2.8 %
大学院	25,149 人 16.0 %	24,165 人 16.0 %	25,190 人 17.4 %	24,508 人 15.8 %	26,297 人 17.0 %	25,456 人 16.4 %	27,747 人 17.9 %	27,156 人 17.3 %	29,612 人 18.8 %	1,865 人 増 0.9 % 増
合計	35,030 人 5.8 %	33,690 人 5.6 %	35,492 人 6.1 %	35,449 人 5.8 %	38,477 人 6.3 %	36,476 人 6.0 %	39,960 人 6.6 %	38,670 人 6.4 %	42,155 人 6.9 %	2,195 人 増 0.3 % 増

※()内・・・外国人留学生の割合。分母は、同年の総学生数。

※目標値を定めている大学 62 / 86大学



2. 日本人学生の海外留学

目標 2020年(平成32年)までに派遣留学生(日本人の海外留学者)割合を
学部・大学院合わせて5%にすることを旨す。

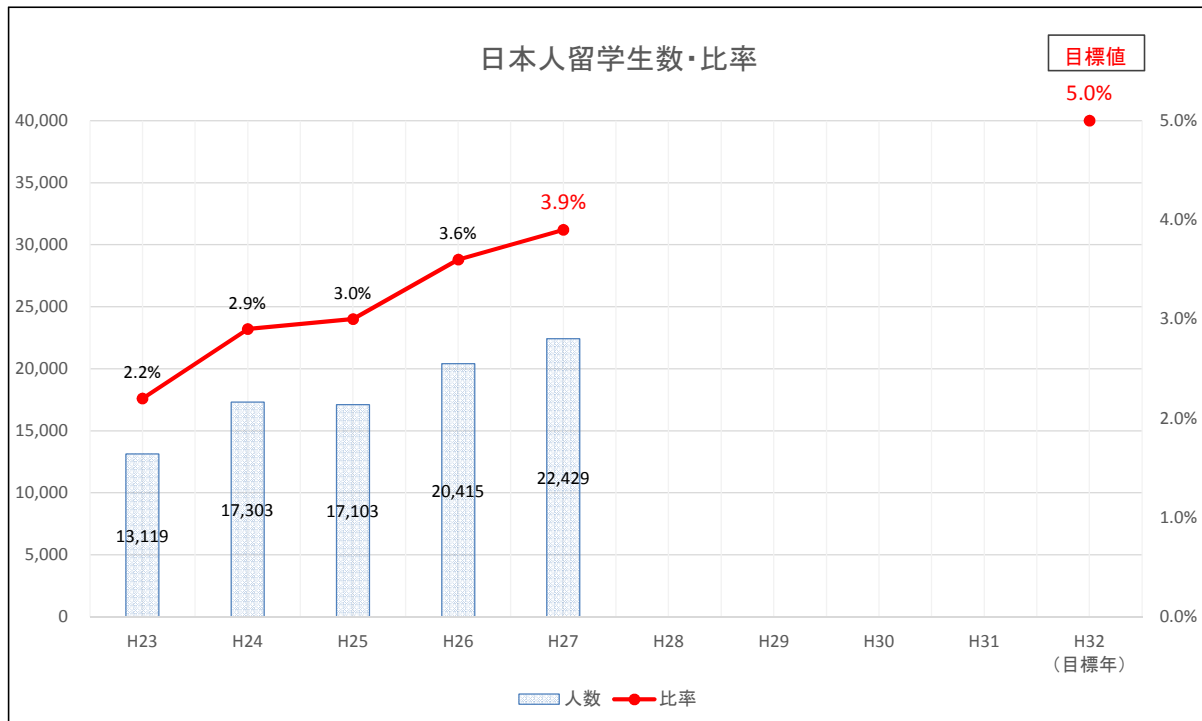
①日本人学生の海外留学者数

		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
(1年以上)	学部	506 人	457 人	302 人	506 人	816 人
	大学院	568 人	479 人	215 人	206 人	210 人
	小計	1,074 人	936 人	517 人	712 人	1026 人
(1年未満)	学部	7,844 人	9,935 人	11,223 人	13,626 人	14,651 人
	大学院	4,201 人	6,432 人	5,363 人	6,077 人	6,752 人
	小計	12,045 人	16,367 人	16,586 人	19,703 人	21,403 人
合計	学部	8,350 人	10,392 人	11,525 人	14,132 人	15,467 人
		(1.9 %)	(2.3 %)	(2.6 %)	(3.2 %)	(3.5 %)
	大学院	4,769 人	6,911 人	5,578 人	6,283 人	6,962 人
		(3.0 %)	(4.4 %)	(4.4 %)	(4.8 %)	(5.3 %)
	合計	13,119 人	17,303 人	17,103 人	20,415 人	22,429 人
		(2.2 %)	(2.9 %)	(3.0 %)	(3.6 %)	(3.9 %)

※()内・・・平成23・24年度：海外留学者数(日本人に限らない)の割合。分母は、同年5月1日時点の総学生数。

平成25年度以降：海外留学者数(日本人学生に限る)の割合。分母は【同年5月1日時点の学生数－外国人留学生数】。

※目標値を定めている大学 66 / 86大学



3. 外国人教員

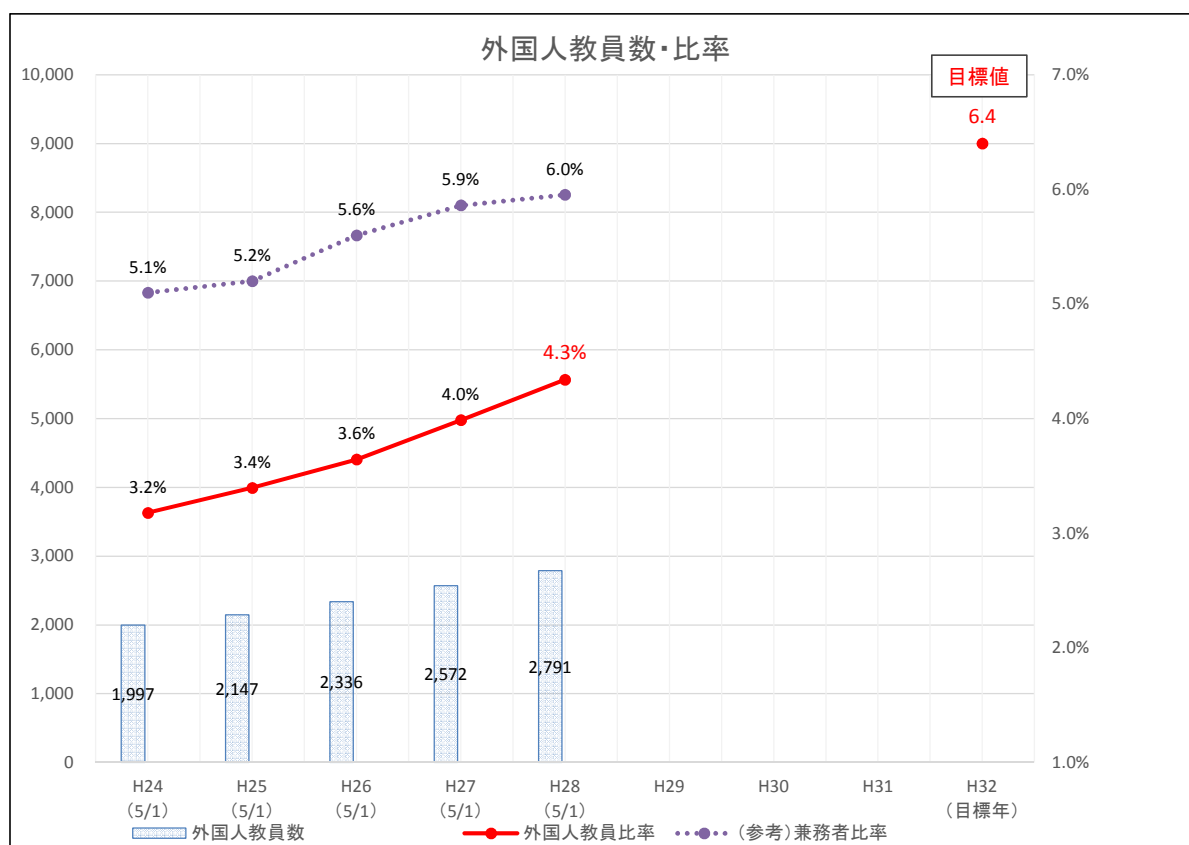
目標 2020年までに外国人教員比率を倍増させることを目指す。

外国人教員数

	本務者				
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在
外国人教員数	1,997	2,147	2,336	2,572	2,791
教員数	62,825	63,218	64,114	64,515	64,318
外国人教員比率	3.2%	3.4%	3.6%	4.0%	4.3%

	(参考)兼務者				
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在
外国人教員数	1,981	2,023	2,079	2,313	2,300
教員数	38,697	39,310	37,024	39,467	38,632
外国人教員比率	5.1%	5.2%	5.6%	5.9%	6.0%

※目標値を定めている大学 31 / 86大学



4. 英語での授業

目標 2020年までに英語での授業実施科目数を学部、大学院とも倍増させることを目指す。

(1) 英語での授業実施科目数

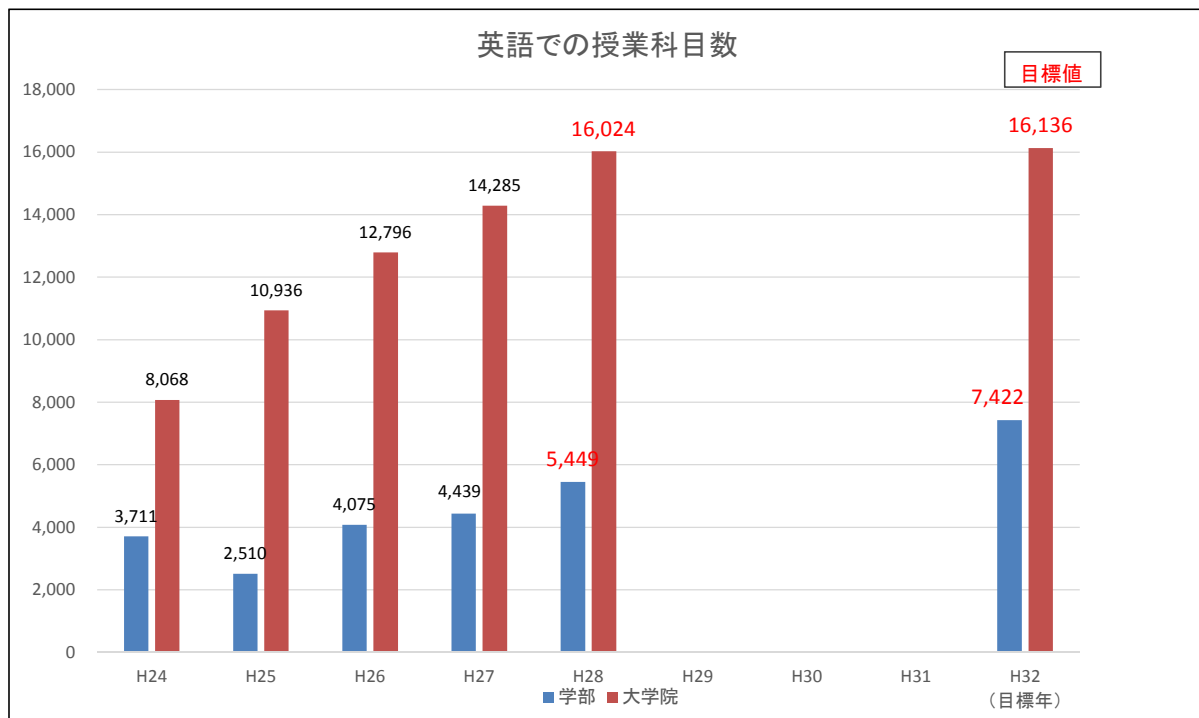
※平成24年度の授業科目数には、語学としての授業科目を一部含む

①学部

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
3,711 授業科目	2,510 授業科目	4,075 授業科目	4,439 授業科目	5,449 授業科目

②大学院

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
8,068 授業科目	10,936 授業科目	12,796 授業科目	14,285 授業科目	16,024 授業科目



(2) 英語で授業を実施している大学数

学部 66 / 82大学 (80.5 %) (前回比: 5大学 6.1% 増)
 大学院 71 / 86大学 (82.6 %) (前回比: 1大学 1.2% 増)

数値目標の設定

目標 2020年までに国際化に関連した数値目標を設定している大学数を倍増させることを目指す。

(1) 数値目標を設定している大学数

① 外国人留学生数に関する数値目標

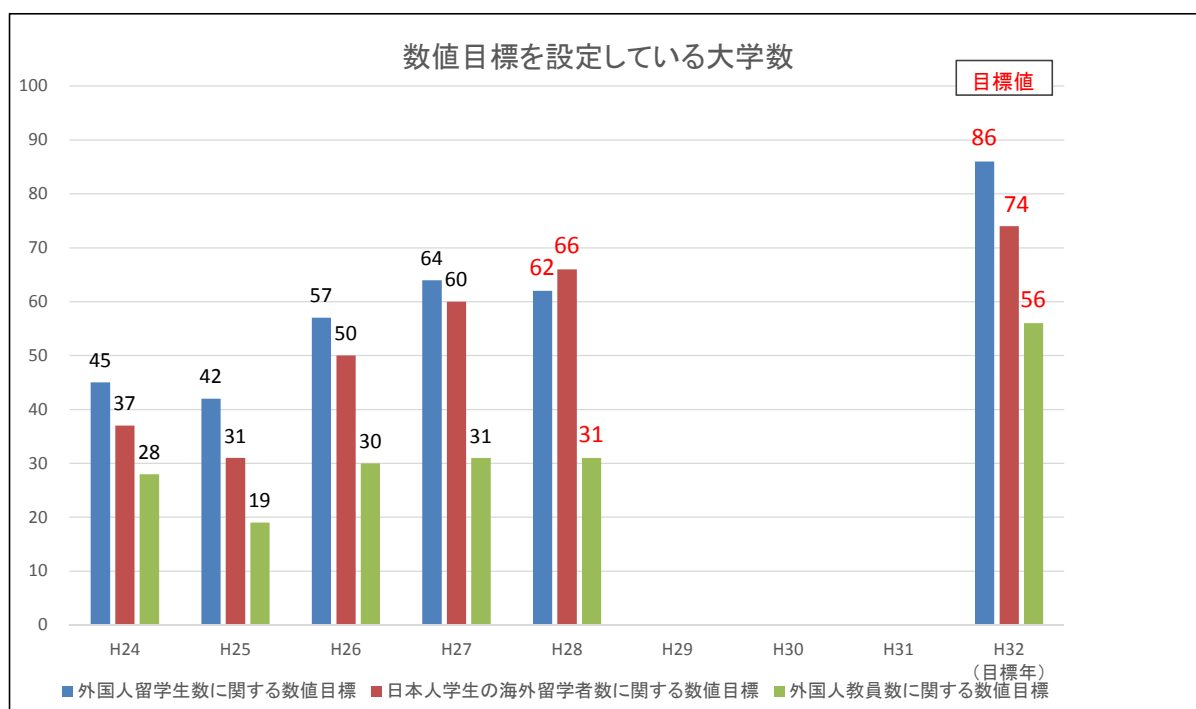
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
45 大学	42 大学	57 大学	64 大学	62 大学

② 日本人学生の海外留学者数に関する数値目標

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
37 大学	31 大学	50 大学	60 大学	66 大学

③ 外国人教員数に関する数値目標

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
28 大学	19 大学	30 大学	31 大学	31 大学



5. その他

(1) 英語による授業のみで学位が取得できるコース等

① 留学生のみに限定されているコース等の設置

学部……	設置している	5	／82大学	(6.1 %)	(前回比: 2大学 2.4% 増)	↑
大学院……	設置している	36	／86大学	(41.9 %)	(前回比: 4大学 4.7% 増)	↑

② 留学生のみに限定されていないコース等の設置

学部……	設置している	10	／82大学	(12.2 %)	(前回比: 3大学 3.7% 増)	↑
大学院……	設置している	47	／86大学	(54.7 %)	(前回比: 1大学 1.2% 減)	↓

(2) 外国人学生向けの特別なプログラム等の設置

① 1ヶ月未満のプログラム等の設置

学部……	設置している	47	／82大学	(57.3 %)	(前回比: 8大学 9.7% 増)	↑
(主な使用言語…日本語23大学、英語40大学)						
大学院……	設置している	33	／86大学	(38.4 %)	(前回比同数)	→
(主な使用言語…日本語11大学、英語31大学)						

② 1ヶ月以上6ヶ月未満のプログラム等の設置

学部……	設置している	41	／82大学	(50.0 %)	(前回比同数)	→
(主な使用言語…日本語28大学、英語30大学)						
大学院……	設置している	33	／86大学	(38.4 %)	(前回比: 2大学 2.3% 減)	↓
(主な使用言語…日本語19大学、英語30大学)						

③ 6ヶ月以上のプログラム等の設置

学部……	設置している	52	／82大学	(63.4 %)	(前回比: 1大学 1.2% 増)	↑
(主な使用言語…日本語44大学、英語33大学)						
大学院……	設置している	45	／86大学	(52.3 %)	(前回比: 2大学 2.3% 増)	↑
(主な使用言語…日本語29大学、英語37大学)						

(参考) 世界に対して広く募集している短期留学プログラム等の設置

学部……	設置している	18	大学	／82大学	(22.0 %)	(前回比: 5大学 6.1% 増)	↑
大学院……	設置している	13	大学	／86大学	(15.1 %)	(前回比同数)	→

※ 募集の対象を協定校や交流実績のある大学に絞ったり、教職員の国際的なネットワークによる募集ではなく、例えばHP等で応募者を広く世界から募っているプログラム

(3) 4月以外の入学時期の導入

学部……	導入している	18	大学	(22.0 %)	(前回比: 4大学 4.9% 増)	↑	
	導入する予定	4	大学	(4.9 %)	(前回比: 2大学 2.4% 増)	↑	
	導入していない	60	大学	／82大学	(73.2 %)	(前回比: 6大学 7.3% 減)	↓
大学院……	導入している	76	大学	(88.4 %)	(前回比: 1大学 1.2% 増)	↑	
	導入する予定	1	大学	(1.2 %)	(前回比: 1大学 1.2% 減)	↓	
	導入していない	9	大学	／86大学	(10.5 %)	(前回比同数)	→

(4)―①4学期制の導入(一部で実施している場合を含む)

学部……	導入している	17	大学	(20.7 %)	(前回比: 10大学 12.2% 増)	↑
	導入する予定	15	大学	(18.3 %)	(前回比: 12大学 14.6% 減)	↓
	導入していない	50	大学 / 82大学	(61.0 %)	(前回比: 2大学 2.4% 増)	↑
大学院……	導入している	27	大学	(31.4 %)	(前回比: 7大学 8.1% 増)	↑
	導入する予定	11	大学	(12.8 %)	(前回比: 6大学 7.0% 減)	↓
	導入していない	48	大学 / 86大学	(55.8 %)	(前回比: 1大学 1.2% 減)	↓

(4)―②柔軟な学事歴の導入(一部で実施している場合を含む) 【今年度新規調査項目】

学部……	導入している	13	大学	(15.9 %)
	導入する予定	6	大学	(7.3 %)
	導入していない	63	大学 / 82大学	(76.8 %)
大学院……	導入している	16	大学	(18.6 %)
	導入する予定	2	大学	(2.3 %)
	導入していない	68	大学 / 86大学	(79.1 %)

(5)ダブルディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

学部……	実施している	8	大学	(9.8 %)	(前回比同数) →	
	実施する予定	6	大学	(7.3 %)	(前回比: 2大学 2.4% 増)	↑
	実施していない	68	大学 / 82大学	(82.9 %)	(前回比: 2大学 2.4% 減)	↓
大学院……	実施している	50	大学	(58.1 %)	(前回比: 2大学 2.3% 増)	↑
	実施する予定	4	大学	(4.7 %)	(前回比: 1大学 1.2% 減)	↓
	実施していない	32	大学 / 86大学	(37.2 %)	(前回比: 1大学 1.2% 減)	↓

(6)ジョイントディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

学部……	実施している	0	大学	(0.0 %)	(前回比同数) →	
	実施する予定	6	大学	(7.3 %)	(前回比同数) →	
	実施予定はない	76	大学 / 82大学	(92.7 %)	(前回比同数) →	
大学院……	実施している	2	大学	(2.3 %)	(前回比同数)	
	実施する予定	19	大学	(22.1 %)	(前回比: 1大学 1.2% 増)	↑
	実施予定はない	65	大学 / 86大学	(75.6 %)	(前回比: 1大学 1.2% 減)	↓

(7)国際バカロレア入試の導入

導入している	10	大学	(11.6 %)	(前回比: 5大学 5.5% 増)	↑
導入する予定	9	大学	(10.5 %)	(前回比: 2大学 2.9% 減)	↓
導入していない	67	大学 / 86大学	(77.9 %)	(前回比: 1大学 2.6% 増)	↑

(8)―①留学生宿舎の整備【大学の所有宿舎】

【今年度新規調査項目】

整備している	79	大学	(91.9 %)	整備戸数 (18,236)
整備する予定	0	大学	(0.0 %)	
整備していない	7	大学 / 86大学	(8.1 %)	

(8)―②留学生宿舎の整備【民間企業等との法人契約による借上げ】【今年度新規調査項目】

整備している	21	大学	(24.4 %)	整備戸数 (1,497)
整備する予定	1	大学	(1.2 %)	整備(予定)戸数 (50)
整備していない	64	大学 / 86大学	(74.4 %)	

(8)―③留学生宿舎の整備【自治体等所有宿舎の大学への専用居室の割当て】

【今年度新規調査項目】

整備している	16	大学	(18.6 %)	整備戸数 (297)
整備する予定	0	大学	(0.0 %)	
整備していない	70	大学 / 86大学	(81.4 %)	

(9)―①大学独自の奨学金制度の導入【外国人留学生向け奨学金制度】

【今年度新規調査項目】

導入している	62	大学	(72.1 %)
導入する予定	2	大学	(2.3 %)
導入していない	22	大学 / 86大学	(25.6 %)

(9)―②大学独自の奨学金制度の導入【日本人学生向け海外留学奨学金制度】

【今年度新規調査項目】

導入している	67	大学	(77.9 %)
導入する予定	2	大学	(2.3 %)
導入していない	17	大学 / 86大学	(19.8 %)

(10) 留学先大学で履修科目の単位認定の実施

【今年度新規調査項目】

実施している	80	大学	(93.0 %)
実施する予定	1	大学	(1.2 %)
実施していない	5	大学 / 86大学	(5.8 %)

6. 自由記述(教育の国際化に関する事柄)

(主なもの)

【対応に苦慮していること】

- 各大学の状況や個性に沿った国際化に対する考え方・方法論が必要
- 日本人学生の海外留学を促進させるにあたり、海外でのテロ等が発生した際の大学としての対応や事前の備え、学生への安全管理に関する指導
- 国等の留学支援制度や奨学金制度の事務の複雑化
- 留学生の増加に関すること
 - ・ 留学生宿舎の確保。特に、短期受入れの留学生への宿舎の確保
 - ・ 外国人留学生への奨学金等の経済的支援の拡大
 - ・ 他国の教育制度に関する情報の不足
(日本との学校教育期間、成績評価の基準、学事歴等の相違)
- 日本人学生の海外留学に関すること
 - ・ 奨学金等の経済的支援の拡大
 - ・ 外国語能力の向上
 - ・ 渡航中の学生情報をリアルタイムで把握することができる電子的な仕組みの構築
- 国際化に対応する大学の体制に関すること
 - ・ 国際化に対応する教職員の不足
 - ・ 教職員の英語力向上や国際関係以外の部署での、大学の国際化に関する目標の理解や合意形成
- 英語での授業やプログラム等について
 - ・ 実施科目数の拡大
 - ・ 語学力の差による、授業理解の差(日本人学生同士の差、日本人学生と外国人留学生の差)
 - ・ 他国との単位制度の相違によって生じる単位互換や単位認定の困難
 - ・ ジョイントディグリープログラムの設置(履修単位数の増大等によって生じるプログラム設置の困難)

【他大学との情報交換を行いたいこと】

- 安全管理に関する危機管理体制や危機発生時における対処方法の具体的取組事例
- 外国人留学生の受入と日本人学生の海外留学の拡大に関する取り組みの成功事例
- 日本人学生の語学力の向上
- 入学定員に関する外国人留学生の取り扱い

- 入学資格に関する各大学での個別の入学資格審査の状況
- 留学生宿舍の運営
- 単位互換制度の運用、英語化された授業科目の質保証
- ダブルディグリーやジョイントディグリープログラムの構築(学位、法務、カリキュラム、国際通用性の担保等)

【国等に要望したいこと】

- 留学生宿舍の建設及び改修への支援、留学生宿舍整備のための施設整備費
- 日本人学生の海外留学と外国人留学生受入の拡大のための奨学金の拡充
- 大学での奨学金の一括管理や複数年度での留学支援プログラムの採択、採択時期の早期化等、奨学金事業に関する運用の改善
- 国費留学生の増加
- 優秀な留学生の受入拡大を促進するため、外国人留学生を入学定員の外数とすることの明確化(特に学士課程)
- 「平均入学定員超過率」の計算方法について、外国人留学生の受入抑制とにならないような弾力的な運用
- 海外渡航時の危機管理の冊子やマニュアルの作成、発行(大学や学生向けに特化したもの)
- 安定した大学の国際化とグローバル人材育成を推進するための予算確保